

登山報告書

報告者 竹村勇紀

1. 参加者 土居、木村、竹村
2. 実施日 平成 27 年 3 月 4 日(水)～9 日(月)
3. 実際の行程
前鬼～太古の辻手前



4. 行動報告

(徒歩→ 電車⇒ バス⇨ タクシー➤)

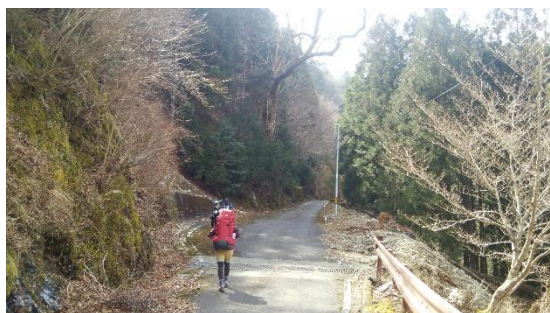
1日目(3/4,5)		天気：晴れ、曇り									
	新宿駅	→	近鉄奈良駅	⇒	大和西大寺駅	→	買い出し	→	大和西大寺駅	⇨	大迫ダム
着	22:45		6:15		8:25		9:00		9:30		11:30
発	23:15						9:20		10:25		11:36
➤		前鬼口車止めゲート	→	小仲坊		夕食		就寝			
着	12:39		13:30		17:00		19:00				
発	12:39										

[補足]

大和西大寺駅にて買い出しをし、鍋の材料を買った。これを用いて夕食は鍋を作った。

バスの改定があったため、大和西大寺駅から前鬼口までのバスが1日2本しか走っていないということが分かり、大迫ダムまで乗り合いバスで移動し、そこから待ち合わせているタクシーに乗って移動した。前鬼口から車止めゲートまでは、舗装された道を歩くと3時間ほどかかるが(今回はタクシー移動)落石の跡がところどころ見られた。

小仲坊(野营地)については1日当たり1人500円であり、敷地自体も広く、ドラム缶も設置されていてごみを燃やすこともできる。仮設用トイレもあるが水洗ではないので流す際には水を持っていくことが必須である。緊急避難用の小屋(素泊まり4000円)もあり安心できる。携帯電話は圏外となってしまうものの公衆電話が設置されているため外部との接触はできる。ただし車止めゲートから携帯電話は全行程で圏外のため注意が必要。



(徒歩→ 電車⇒ バス⇨ タクシー➤)

2日目(3/6)		天気：晴れ、曇り					
起床	小仲坊	→	分岐	→	稜線沿いへ	→	道の誤りに気が付く
着			5:45		8:40		9:20
発	3:15		5:30				
→	方針確定	→	正規ルートへ	→	小仲坊		夕食
	9:40		13:50		14:30		18:00
	9:40		13:50				20:00
							就寝

[補足]

夕食は米を使わなかった。また冬場でありテントの中は寒い。

当初の行程では持経の宿へ進み、時間的余裕があったら平治の宿まで進めるつもりであったが途中で道を誤り小仲坊へ戻った。以下に簡潔に示す。

〈場所〉 分岐にて 活動開始 15 分後

〈理由〉 正規ルートに設置されているテープの存在に気が付かなかった

〈原因〉 出発時にまだ日が出ておらず、明かりをつけていたものの足元を見ていたから

〈到達点〉 地図上に示す山頂付近

〈何をもって間違いに気が付いたか〉 高度の変化（下り）があまりに急なものであったから

〈そこまで気が付かなかった原因〉

雪が降っていたため登山道がよくわからなかった、稜線に出た後であるがまばらに人工的に巻かれたりボンがあったこと

〈戻るときの方針〉

- ① 行程が稜線沿いに歩くものであるため、方位磁石の示す方向と地図を照らし合わせて稜線を歩き、正規ルートに合流する→稜線が完全に木々でふさがれている箇所があり、迂回しなければいけないため現在地の把握が困難となるため断念
- ② 行きに来た道（上り坂）が雪の残っている道であり、それを手がかりに雪の残る方角に向かい下山して正規ルートへ合流→雪の残っている方角が明確であること、周りが山に囲まれていてちょうど下るにつれてルートが絞られていくことが分かったのも幸いしてこの方針を選択

※頂上でも携帯電話は当然通じず圏外

〈正規ルートに合流できた要因〉

山の形状、よく晴れていて見通しが良かった（時間帯がまだ明るい時間であった）、迷ったと確定した場所から稜線沿いまでが近かった、現在地が分かっていたため方針が立てやすかった、アイゼンを持ち歩いてきたため雪の斜面にある程度対応できた

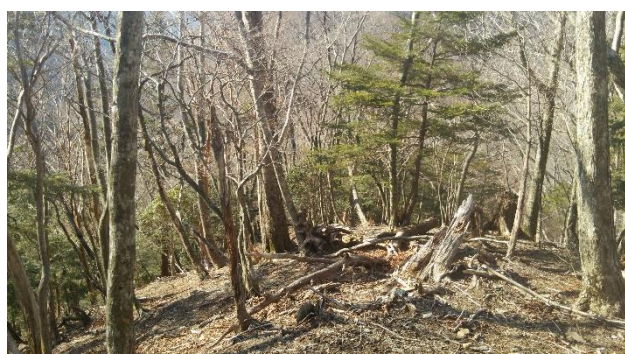
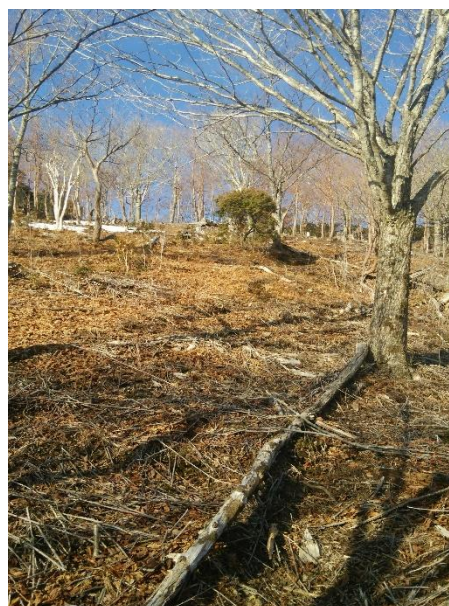
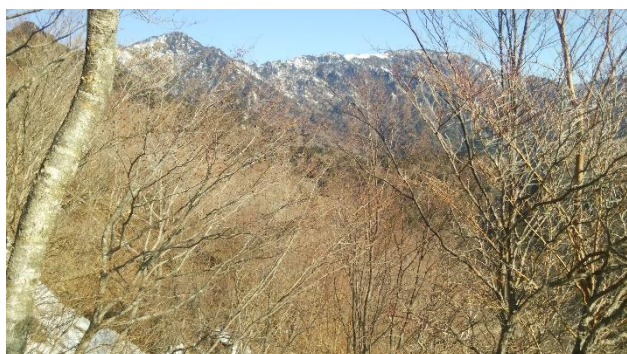
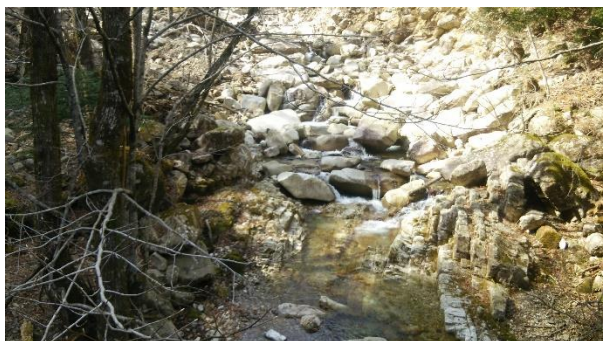
〈必要とされた知識、装備〉 現在地の把握、コンパス、アイゼン、地形図

〈反省点、得られた知識〉

日が昇る前に行動をしてしまった→前日に少し確かめておけばよかった

地形、高度の把握→この道ではないと客観的にわかる材料になる

無雪期の道の確認を怠った→積雪といっても 20cm 前後なので資料等で見ておく必要がある
引き返す勇気→経験によるものが大きい、やはり数を積んでの慣れが必要
アイゼンの装着→これも慣れが必要、装着は必須



(徒歩→ 電車⇒ バス⇨ タクシー→)

3日目(3/7)		天気：曇り、雨				
	起床	小仲坊	→ 二つ岩	→ 分岐	→ 撤退開始	
着			8:24	11:27	12:08	
発	4:00	6:45	8:30	11:27		
→ 正規ルートへ		→ 小仲坊	➤ 六田駅	⇒ 平方駅	⇨ 奈良健康ランド	就寝
着	12:40	14:35	17:50	20:15	20:20	25:00
発	12:40	16:20		20:30		

[補足]

この日は前日の反省を生かし正規ルートから戻る傍ら、目印が何かあったのかを確認したため途中までは迷わなかった。しかし目印を見失ってしまったため迷ってしまった。理由は積雪と雨により霧が発生していたためである。雪の中ということで足跡を見れば来た道が分かるので道を探すことは容易であるが、道のり自体は陰しいところがあった。間違いの発見としては登っていたところの先が切り立った崖であったこと、木々に熊の爪痕があったり、鹿のフンが転がっていたりしていることで気が付いた。正規ルートに戻るまでに時間はそこまで必要としなかったものの、2日続けて道を見失う事による精神的なダメージ、士気の低下により下山するという結論に至った。雪質についてであるが、水気のある質の低い雪であり、歩くのには注意が必要であった。岩の上を通る場所では雪を踏み抜くということも少なくなかった。しっかり雪を固めておくことやアイゼンの装着など基本的なことが問われる。前日の反省を生かし目印を探すことに注意をむけられたことはよかった。

小仲坊からの流れを示すと、この日が休日であったこともあり管理している人がいたため、直接小仲坊までタクシーを呼んで市街地まで出ることができた。当初は値の張らないホテルを探し泊まる予定であったが、どこも埋まっていたため健康ランドで仮眠室を利用した。



(徒歩→ 電車⇒ バス⇨ タクシー➤)

4 日目 (3/8, 9)

天気：晴れ、曇り

奈良観光

[補足]

初めに奈良駅で荷物を預けた。



5. 全体を振り返って

今回は例年よりも比較的安全な道を歩くということであったが、途中で計画を断念した。帰ってこられただけよかったが、今後もすべての山行においてこのような場合が考えられるため、この山行を通じて認識を改める点が多い。山道そのものは自然豊かで、も〇のけ姫で出てくる森中を彷彿とさせるところがあり雪を除けば歩きやすく、5月あたりに多くの人を訪れる理由が分かった気がする。目的そのものは残念ながら達成できなかったものの、精神面、技術面での強化などの課題が多く見付き、得られたものは多かった。見つけた課題は共有し、一つずつ解決していき、初心を忘れることなく、自分の体力、技術、体調をよく把握し無理のない計画を立てなければならぬと感じる。安全を確保しつつ、その上で楽しさや活動の本質を探していきたい。